

【経営ニュース】

際立つスコアリングモデル活用 個人保証に依らない融資状況

全国銀行協会ではこのほど、「個人保証に過度に依存しない融資の取組状況にか
かるアンケートの結果について」をまとめ公表した。今回の調査は、政府の再チャレン
ジ推進会議において支援策が検討されている中で、「個人保証に過度に依存しない
融資手法の多様化」が金融機関に要請されている状況を踏まえたもの。対象企業は
中小企業基本法に定める「中小企業」。

集計結果で最も多かったのは

- (1)「スコアリングモデルを活用した融資」で、都銀・信託その他52行において251,846件5兆23,425百万円(残高・以下同)、地方銀行63行において134,296件1兆94,066百万円、第二地銀において99,458件699,847百万円。以下
- (2)「コベナンツを活用した融資(定型的な商品として提供しているもののみ加算)」:
都銀・信託その他5,246件1兆311,881百万円、地方銀行3,146件116,626
百万円、第二地銀905件19,566百万円。
- (3)「動産・債権譲渡担保融資(ABLを含む・リース債権及びクレジット債権を担保と
した融資を除く)」都銀・信託その他771件295,540百万円、地方銀行1,029件2
3,101百万円、第二地銀593件6,575百万円。
- (4)「知的財産担保融資」(数値略)となっている。